

## 第 28 回 バス交通整備検討委員会 議事要旨

### 開催の概要

日 時：2011.6.17 14:00～15:30

会 場：小山第一小学校地域学習室 2

出席者：山口委員長、永井副委員長

(敬称略) 石川、大森、鈴木、柿崎、石嶋、高山、古谷(委員代理)、井上(以上、計 10 名)

内 容：

- (1) 間々田東西線の変更について
- (2) 東部デマンドの変更について
- (3) 西部再編の最終確認について
- (4) その他

### 議事要旨

#### (1) 間々田東西線の変更について

資料に基づき、以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答ののち了承された。

- ・平成 22 年 10 月に再編成を行ったが、次の内容を主な理由とした一部再編を行う。
- ・五料地区と国道 4 号の区間において平成 23 年 1 月に開通した間々田アンダーパスを通行するルートに変更し、同時に五料停留所の位置を変更する。これにより、狭隘な踏切と前後の道路の通行がなくなり、五料住宅街を大型バスが通り抜けることによる騒音や交通安全上の課題がなくなる。
- ・富士通テンの通勤者の利便性、小山南高校の通学の利便性の向上のために、朝夕のダイヤを改善する。これにより再編成によって減少した利用者の回復を図る。

#### [ 主な質疑応答 ]

委 員：通勤通学対応の改善を行うとのことだが、どの程度の需要が見込めるのか？

事務局：通勤に関しては、事業所に対するヒアリングを通して、最低でも 10 名程度の利用増が見込めることがわかった。通学に関しては、高校へのアンケートの結果、ダイヤ(通学時間帯に減便になってしまったこと)と料金(学割料金が廃止になってしまったこと)の影響が大きいことがわかった。そのため通学時間帯の利便性を向上により、利用者の回復と通学定期の利用の促進を図る。

委 員：五料地区周辺の運行の変更内容をもう少し詳しく説明して欲しい。

事務局：現在は五料の住宅内を通過し、宇都宮線の踏切を渡って 4 号線に出ているが、変更後は開通したアンダーパスを走行する。このため、住宅内の走行や時間待ちによる騒音や交通安全上の問題をなくすることができるメリットがある。一方で五料の停留所は位置変更によりやや遠くなってしまいが、地域に説明済みで了承されている。

委 員：五料発の間々田駅東口行きが美しが丘とりせん前を通過する理由は？買い物帰りに利用したい人がいると思うが？

事務局：五料折り返し便は、終点で U ターンができないため迂回することから、とりせん前を通過せざるを得ない。この場合、五料止まり便に乗車してもらってそのまま折り返していただくことになる。資料では説明が不足しているので、路線図、時刻表、停留所などにわかりやすく表示をする。

委 員：今回の変更にあたって、苦情等はあるか？

事務局：再編後の沿線住民や通勤通学利用者の要望を総合的に勘案して再検討した計画であるとして説明してきたが、特に苦情等はない。

#### (2) 東部デマンドの変更について

資料に基づき、以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答ののち了承された。

- ・桑エリアの利用状況が少ないことも鑑みて、東部地区全体で予備車を含めた配車計画を見直し、桑絹地区を 2 台 1.5 台、大谷地区を 1 台 1.5 台とする。
- ・車両借り上げ費を 2700 円/台 2400 円/台とし、費用削減をはかる。

#### [ 主な質疑応答 ]

委 員：桑地区の利用が少ない理由は？

事務局：絹地区と違い、便利な羽川線を利用できる方が多いため、デマンドを利用せざるを得ない人が少ないと思われる。継続的な PR といきいきふれあいセンター利用者の増加で、利用者は少しずつ増えてきているので、潜在的需要を引き続き掘り起こしていきたい。

委員：桑地区は登録率自体が他の地区に比べて非常に低いようだ。登録や予約が簡単でタクシー感覚で利用できることをよく理解してもらえない。自治会を通したPRよりも、必要と思われる人に直接PRすることが効果的だと思う。

委員：直前や休日にも予約ができるようにしてもらえればという声も聞いている。そういう工夫が必要かもしれない。

事務局：今後の参考にしていきたい。

委員：使用する車両は？台数を変更する理由は？

事務局：車両はハイエースを使用している。これはデマンド化以前に使用していた路線用バスをそのまま使用している。台数の調整は、いきいきふれあいセンターへの利用者が集中した場合の対応であるが、予備車の配分を変えただけで全体の台数は変えていない。

委員：デマンドバスの周回の順番は誰が決めているのか？

事務局：タクシー会社のオペレータが予約に従ってコースを組み立てている。

委員：予約の状況によっては、無理な場合があると思うが、そのようなことは今までないのか？

事務局：半日前までの予約で整理できること、まだそれほど利用者が多くないこと、どうしても混み合う場合は制限の範囲で増便をして対応をしていることから、これまで問題は生じていない。

委員：逆に利用者がいない時間帯は、運行しないということか？

事務局：その通りです。

### (3) 西部再編の最終確認について

資料に基づき、西部地区の思川線・道の駅線の運行の内容、及びデマンド化の内容について事務局より説明があり、質疑応答ののち了承された。

- ・デマンド化に伴い、乗り継ぎ拠点と小山駅西口を結ぶ思川線と道の駅線を新設する。
- ・市西部を豊田地区、中・穂積地区、寒川・生井地区に分けてデマンドバスの運行を行う。
- ・デマンドバスの事業者についてはコンペの結果、大山タクシーを選定した。
- ・デマンドバスは3地区を3台のセダン型タクシーにより運行するが、1日最大27便の範囲であれば需要の変動に応じて各地区相互に臨機応変に配車できることとしている。

#### [主な質疑応答]

委員：今回の変更に関して、地域にはどのような説明をしてきたか？

事務局：12月以降、各自治会を通して説明会を開催してきた。資料配布だけでいいというところはそのように対応している。

委員：自治会の説明会にはどのくらいの人にどのくらいの時間の説明がされているのか？

事務局：各地区にもれなく声をかけて、変更案の説明をしてきた。説明の時間は1時間程度。ただし再編案としての説明だったので、確定案が固まった段階で再度説明を行う予定にしている。

委員：説明会だけに出席するのも大変だと思う人は多いから、総会などの多くの人が集まる機会に15分程度で手短かに説明してもらうのが効果的だと思う。

事務局：ご指摘の内容も含めて、各地区からのご要望に沿って開催していきたい。

委員：今回の運行計画はダイヤのわかりやすさ、乗り継ぎ拠点の考え方など、いろいろと工夫している感じがする。定時運行が基本となっているが、必要に応じて乗り継ぎを優先させる（たとえば、乗り継ぎ便にあわせて途中でも乗り継ぎ拠点に向かうなど）考え方も検討すると、さらに便利になると思うが。

事務局：すべての便を乗り継ぎ可能にするのは非常に難しいが、いろいろと工夫していきたい。

### (4) その他

市民病院の停留所の改善について事務局より説明があった。

- ・正面玄関付近に停留所を移動し、待合所を整備する予定である。
- ・これによって、薬局周辺の狭い道を周回する必要がなくなり、より安全な運行が確保できる。
- ・病院では停留所付近の路面にバス、タクシー、救急車の停車区分等を表示する予定であり、混乱のないようにしていきたい。

(以上)